

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	玉川山田どじょうプロジェクト
事業主体 (連絡先)	玉川山田どじょうプロジェクト (代表 守屋浩治 茅野市玉川 8448-1 携帯電話 090-9665-5088)
事業区分	
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,013,212 円 (うち支援金: 2,479,000 円)

### 事業内容

「どじょう」を通して、村の歴史や、農業との関わりを、子供たちが地域住民の方々と共に学ぶという地域教育を進め、一人でも多くの若者が、「かえってほしい」と思うことを増やしたい。そのために、中心となる施設を、古民家を改修し整備した。また、どじょうや、田んぼ等村の財産を知っていただくために、下記のとおり講演会等を実施。

- 6月17日 どじょう観察会 玉川保育園 園児 48名
- 10月17日 障子張替準備作業 県信用組合宮川支店 9名
- 11月13日 障子張替作業 玉川小学校児童及び保護者 16名
- 12月10日 「土づくりについて」奥久氏講演会 25名参加

### 事業効果

- 10軒あった空家の内1軒を活用し、空家を9件にすることが出来た。(10%減)
- 長い間行われなかった『村内での新しい動き』を見て、将来の可能性を語る村内になってきたことと、村内の児童に新たな可能性をみせることができた。
- 夜間に電灯のともる家が1軒増えたことを多くの村民が喜んでいる。
- 村内になかった飲食店を一軒開店することが出来た。その施設で地域の伝統食を盛り込んだメニューの提供を行うことが出来た。

### 今後の取り組み

○更なる交流拠点の充実を目指すとともに、村内空家の有効利用を進めていく。

- この事業成果を足掛りに『田舎暮らし体験宿泊施設』を目的とした空家古民家1軒のリノベーションに取り掛かる予定。(村内の空家10軒→9軒〈達成〉→8軒〈目標〉)

○今回完成した施設の活用範囲を広げる活動〈ソフト事業の充実〉を行う。

- ヨガスクール、そば打ち教室など、公民館とは違う有料でのカルチャーセンター的なものとしても活用。
- 現在、落語会を計画しており、その他イベント開催の為のホールとして活用。

○令和4年度は、ソフト面の充実を図り、令和5年度に行う新たな事業に備える。

- 今年度に改修した古民家の施設運営を軌道に乗せるとともに、保育園児及び小学生によるどじょうの生育が進められる環境を整備。
- 村内の古民家1軒を、令和5年度に『田舎暮らし体験宿泊施設』として完成させ、再来年度さらに1軒の空家を減らすための準備を進め、支援策の研究。

○令和5年度は再びハード整備にも力を入れる。

- 『田舎暮らし体験宿泊施設』が完成した暁には玉川山田地区に地域外からの来訪者を引き込むメニューを発信するとともに、移住者受入れの活動にも注力。



【施設の様子】

### 【目標・ねらい】

- 古民家の借り上げと改修・整備を行う
- 地域の灌漑事業の歴史とどじょうとのかかりについての学習を進める
- 地域の未就学児童及び小学生によるどじょうの飼育と研究を行う
- 地域の伝統食を提供する飲食施設の開店と運営を行う

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

- 村内の空き家の軒数が10軒から9軒に1軒減(10%減)
- 村内の飲食店は皆無であったが、1軒できたことは画期的である。
- 地元の保育園児、小学生がどじょうの生態、飼育に興味を持って関わるとともに、小学生たちは古民家改修の際、障子貼り等を行う等の協力体制が取られた。